

標 題 : Mediterranean Diet as a Protective Factor for Wheezing in Preschool Children
就学前児童における喘鳴の予防因子としての地中海食事

著 者 : J. A. Castro-Rodriguez, et al. (チリ カトリカ・デ・チリ大学 医学部)

掲 載 誌 : J. Pediatr. 152: 823-828 (2008)

要 旨 :

目 的 : 就学前の子供において地中海食事は現在の喘鳴の予防因子となるとの仮説を検証すること。

研究計画 : 就学前の子供 1784 人(平均年齢 4.08±0.8 歳)の両親によるアンケートを完了した。

過去 1 年間に喘鳴を経験したか(20.0%)しなかったかによって、児童を階層化した。

複数食品の摂取頻度に従って、地中海食事スコアを組み立てた。

結 果 : 年齢、帝王切開による出産、低出生体重、妊娠中の家畜との接触、生後 1 年間の抗生物質の使用、過去 12 ヶ月のアセトアミノフェン摂取、鼻結膜炎、湿疹、親の喘息と喫煙、母親の教育水準、母親の年齢、運動、飼い猫、および地中海食事は、現在の喘鳴と関連したが、肥満とは関連しなかった。

多変量解析で、湿疹、鼻結膜炎、親の喘息、およびアセトアミノフェン摂取は、現在の喘鳴の危険因子として残った(それぞれ、調整オッズ比[aOR]=2.35 [95%信頼区間(CI)=1.2 から 4.8]、2.78[95%CI=1.3 から 6.1]、3.89[95%CI=1.4 から 10.7]、および 2.38[95%CI=1.2 から 4.6]。

逆に、地中海食事および年長は予防因子として残った(それぞれ、aOR=0.54 [95%CI=0.3 から 0.9]および 0.67[95%CI=0.5 から 0.9])。

結 論 : 就学前の子供で肥満および運動に関係なく、地中海食事は現在の喘鳴の独立した予防因子である。
